

4年間のカリキュラム

■ 必修科目 □ 選択科目

(2018年度入学生用カリキュラム) ※科目名は代表的なもののみ掲載しており、一部変更になる場合があります。

	1年次 身近な現代文化を知り 背景を探る	2年次 人間の行動や社会を より深く探る	3年次 文化を通して社会を考える	4年次 興味ある現代文化を テーマに研究する
	文化社会学の学びへの入門	人の行動の背景を見つめる	文化を通して社会を考える	【卒業論文・卒業制作】 自分なりの視点で1つのテーマを追突する
	<p>□ 総合科目・文化社会学Ⅰ・Ⅱ</p> <p>現代文化のさまざまな分野で活躍中のプロフェッショナルから、現代文化の面白さとその背景を学びます。</p> <p>○ 授業の流れ</p>	<p>文化と社会の相互関係</p> <p>■ 文化社会学概論</p> <p>都市の成り立ちと人間関係</p> <p>□ 都市社会学</p> <p>身近な「信仰」を読み解く</p> <p>□ 現代宗教論</p> <p>ボランティアの限界と新たな可能性</p> <p>□ ボランティアネットワーク論</p> <p>エンタテインメントの世界つくる・伝える・楽しむ方法</p> <p>□ エンタテインメント論</p> <p>大人でも「かわいい」を求める「女子」の時代</p> <p>□ ファッション・ビューティー論</p> <p>マーケティング的思考を身につける</p> <p>□ マーケティング論</p> <p>「男らしさ」「女らしさ」とは何か?</p> <p>□ ジェンダー論</p>	<p>ゼミや専門科目でこれまでの学びを振り返りつつ、さまざまな現代文化を通して人間の行動や社会のしくみをより深く見つめます。</p> <p>社会学的思考の基本を学ぶ</p> <p>□ 理論社会学</p> <p>流行と消費の文化を探る</p> <p>□ 文化社会学A</p> <p>何でも文化遺産にしよう現代社会</p> <p>□ 文化社会学C</p> <p>スポーツという文化現象</p> <p>□ 文化社会学D</p> <p>若者の視点から社会問題について考える</p> <p>□ 文化社会学E</p> <p>メディアにおける女性表現について</p> <p>□ 文化メディア論A</p> <p>マンガがわかると時代がわかる</p> <p>□ 文化メディア論B</p> <p>ファッション誌に見る女性の生き方</p> <p>□ 文化メディア論D</p>	<p>■ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>最も興味ある分野を選び、研究テーマを決定します。少人数のゼミで個別指導を受けながら、本や資料を読む、インタビューで生の声を集める、雑誌や新聞の記事を分析するなど、実際に調査を行い、自分なりの答えを見つけます。</p>
専門基礎科目	<p>現代社会の教養を身につけ、社会的に考える</p> <p>□ 現代社会学</p> <p>家族の「あたりまえ」を疑う</p> <p>□ 家族社会学</p>			
	<p>社会学の技法を習得 調べ方やまとめ方など、大学での学びに必要な基礎を身につける</p> <p>調査方法やレポートのまとめ方、発表方法など、大学での学びに必要なスキルを習得します。</p> <p>問題発見、報告、討論の方法</p> <p>■ 文化社会学基礎演習Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>観察、アンケート、インタビュー調査の方法</p> <p>■ 社会調査入門</p> <p>インタビュー調査の実践</p> <p>□ フィールドワーク演習</p> <p>パソコンを活用した調査と発表の方法</p> <p>■ 文化社会学情報演習</p> <p>図解とプレゼンテーションの技術</p> <p>□ マルチメディアの方法</p>	<p>仲間とともに 興味あるテーマを追突</p> <p>■ 文化社会学演習Ⅰ・Ⅱ(ゼミ)</p> <p>演習(ゼミ)は自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて発表する授業です。学生同士が刺激し、高めあう場です。</p>	<p>卒業研究で 1つのテーマを選択</p>